ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第1965回　例会27年　7月　17日（金）

【池田友成ガバナー補佐訪問】

NO1963

2015－7－24発行

2015～2016年度

国際ロータリー会長K. R. “ラビ”ラビンドラン

RI会長テーマ“世界へのプレゼントになろう”

第２５７０地区　ガバナー高柳育行

地区テーマー “ロータリーの心を実践しよう”

【会　長】竹内英明

【副会長】斉藤重治

【幹　事】羽石　隆

【ＳＡＡ】深谷雅良

【点　鐘】　会長　竹内英明会員

【斉　唱】　ロータリーソング「奉仕の理想」

【ゲスト】　第２グループガバナー補佐

池田友成様（朝霞ＲＣ）

【会長の時間】　会長　竹内英明会員

今年度活動テーマ

「リスタート」

皆さんこんにちは。

今日はガバナー補佐訪問です、朝霞クラブの池田友成第２グループガバナー補佐には富士見ロータリークラブにようこそおいでくださいましてありがとうございました。

年度が始まってまだ３週間と地区でも各委員会のセミナーなど目白押しの、何かと忙しい時期ではありますが、昨年度ガバナー輩出クラブとして本年度は公式訪問が７月３１日と早い日程になっていることから、ガバナー補佐訪問もこの時期となりました。今日はご指導よろしくお願いします

池田ガバナー補佐には例会前に関係書類の点検をしていただき、いろいろなご指導もすでに頂きましたことをご報告します。

池田ガバナー補佐は朝霞クラブの重鎮であり、その手腕は今年の会長・幹事会でも第二グループの会長幹事が集まることから、少しでもロータリーの知識を深めるためにと毎回テーマを決めて約３０分ではありますが講演者に参加して頂き研修会を行っております。

前回の７月１５日のテーマはクラブ戦略計画について栗山ガバナーノミニーが研修を行いました

まず会長幹事会の報告をします。

朝霞キャロットＲＣの２５周年です。

次年度ガバナー補佐を志木ＲＣからお願いすることを確認。

補佐訪問、公式訪問についての打ち合わせを行いました。

続いてクラブ戦略計画の研修についてのその内容を簡単に説明します。

戦略計画とは基本的にこれまでの長期計画の事と理解してもいいそうです。戦略というと戦争のイメージを呼び起こすとして日本人には抵抗があることも事実としてあります。ロータリーの戦略計画は、ロータリーにおいて、新たなリーダーが就任するごとに方向性が変わることを防ぎ、ロータリーが重要の目標の達成に向け、確固とした方向性を持って進むためのものです。戦略計画には国際ロータリーの戦略計画、地区の戦略計画およびクラブの戦略計画があります。その国際ロータリーの戦略計画は２００９年にクラブのサポート強化、人道的奉仕の重点化と増加および公共イメージと認知度の向上の３点を挙げています。

クラブにおいて戦略計画と立案するにあたり下記の項目について作成することが推奨される。

１．クラブの現状はどうか？

クラブの長所・短所を考え、地域存在する機会と問題を検討する。

２．クラブは何を目指すのか？　今後３から５年後のクラブがありたいと思う姿を想像し、その特徴を挙げる。

３．どのように目標を達成できるか？　クラブにとって最も重要な優先事項はどれかを決め、年度目標を定める。

４．目標に向けての進歩はどうか？

戦略チームを作り、定期的に進歩状況の把握必要に応じ計画の変更などを行う。計画の実施に際してフィードバックしていく。

３から５年ごとに全プログラムを繰り返し新たな計画を立てるか、現行の計画を継続する。

富士見ロータリーでも戦略計画は必要なことであると思います。実は本年後の研修が始まるぐらいの時期でしたが、これから数年のうちに会長になるであろう会員に集まって頂いて、お話をさせて頂いたことがありましたが、後から思えばこれが戦略計画であるともいえるかと思います。ロータリーはよく不連続性の連続と言われます。奉仕事業は続いているのに会長、委員長、執行部は毎年変わることを言った言葉です。クラブ運営には会員皆さんの理解を頂き、活動を行っていき、さらに年度が替わる時期には申し送りをしっかりと行いたいと思います。

今日のガバナー補佐訪問を終えますと３１日には公式訪問が控えています。この公式訪問について少し説明しておきます。これまでのところ３１日には１１時３０分にガバナー到着の予定です。到着後、ガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事とで協議、懇談会をします。１２時から食事をして頂き、１２時３０分から例会点鐘これは通常例会と同様に行います。例会の中で、１３時ぐらいからガバナー卓話を頂きます。１３時３０分例会終了。休憩を１０分ほどとって、１３時４０分からクラブ協議会として、「ロータリーのストーリーを伝える」のテーマについてＲＬＩ方式で４テーブルに分かれて話あいたいと思っています。

この「ロータリーのストーリーを伝える」とは、これまでロータリーでどのような経験をしたか？またこれからの奉仕の取り組み方法ににについて考えていきたいと思います。

この協議会のテーマは私が考えさせて頂きました。その理由として富士見ロータリー４０年のうち様々な経験がありました。私も入会して２０年ですが全体からみると半分の事しか知りませんこの中で素晴らしいことや、もしくは思いと違う結果になったこともあろうかと思います。このような経験談を先輩ロータリアンから入会間もないロータリアンに教えて頂きたいと思います。せっかくの４０年の歴史を活用したい想いがあります。また、これらを踏まえてこれからどのような奉仕活動ができるか考えていきたいと思います。

各テーブルにはリーダー、書記、発表者についてもらい４０分ほどのセッション後に発表をして頂き、その後ガバナーに講評頂きます。これを１４時４０分遅くとも１５時には終了の予定です。

その後準備をしてこの会場でささやかながら、懇親会を行いたいと思っています。懇親会ではアルコールもお出ししますので、飲酒運転にはくれぐれもお気を付けください。

当日のスケジュールは以上ですが、公式訪問はガバナー月信に掲載されるので写真をＩＴ委員会の皆さんよろしくお願いします。

池田ガバナー補佐、会長・幹事会では初めての補佐訪問が富士見であることに緊張するとのことでしたが私の方こそ、会長として初めての補佐訪問で、その緊張度合いは負けないと感じております。本日はよろしくお願いします

【幹事報告】幹事　羽石　隆会員

１）例会変更の件

１．当クラブ→

８月１４日（金）定款により取り止め

８月２１日（金）「納涼大会」点鐘１９時

志木駅南口前「イタリアンＰＡＺＯＯ」

２）次の書類を回覧します

１．コーディネーターニュース８月号

２．ハイライトよねやま１８４

３．バギオだより７月号

４．ＲＬＩセミナーのご案内

５．志木、新座ＲＣ会報

３）次週のプログラム

「米山記念奨学委員会のセミナー報告」

「ユズさんの帰国挨拶」

「第４５期ＲＩ青少年交換プログラム

派遣学生の小野朱梨華さん」

【委員長報告】

〇親睦委員会→スポーツ担当　小椋博之会員

富士見市商工会

チャリティーゴルフ大会のご案内

日時　９月　２日（水）

場所　大宮ＣＣ

回覧致しますので、宜しくお願い致します。

【出席報告】吉原孝好会員

会員数　　４９名

本日出席　　４３名

出席免除会員１３名　出席対象会員　３０名

出席率　９４．１１％

【ニコニコＢＯＸ】増田　茂会員

竹内会長、羽石幹事、隈川、斉藤（重）会員

横田（栄）、横田（正）、秋元、阿部会員

石川、江澤、大坪、奥田、小椋、尾崎功会員

桑原、斉藤（英）、斉藤、坂本、島田会員

下山、西﨑、深谷、増田、柳田、山口、山城会員

第２Ｇガバナー補佐　池田友成様ようこそいらっしゃいました。（２６名）

江澤康夫会員

山城会員、下鶴間神社社務所の建て替え、誠に有り難うございました。

塩野芳雄会員

早退致します。

山城　盛、小椋博之会員

前回欠席しました。

本日合計￥３００００．

【卓　　話】

第２グループガバナー補佐　池田友成様

皆様今日は。２０１５－１６年度第２グループガバナー補佐を務めさせて戴くことになりました朝霞ＲＣの池田友成と申します。宜しくお願い致します。実は本日が初のガバナー補佐訪問ということで大変緊張しております。また、第２グループの中で最も緊張する要素の大きいクラブが初の補佐訪問クラブということで、立っているのがやっとかもしれません。なぜ、こちらの富士見さんが１番緊張するクラブかと申しますと、四つ程理由があります。一つ目は、直前ガバナーの坂本様のおられるクラブである。二つ目は、第２グループ８クラブの中で富士見さん以外は朝霞クラブの子クラブ又は孫クラブで有ります。三つ目は、私は１０年前に朝霞ＲＣの会長を務めましたが、その時、ご指導頂いたガバナー補佐がこちらの阿部様であります。そして最後に、４０年の歴史を持ち、見識ある竹内会長率いる４９名の素晴らしいロータリアンの集団が富士見ＲＣであります。どうぞ、ロータリーの寛容の精神と友情に免じて、本日の卓話をお聴き頂ければ幸いに存じます。尚本日午前１１時よりガバナー補佐点検書類を拝見致しまして、異常のないことをまずご報告申し上げます。

さて、今年度ＲＩ会長であるＫ・Ｒ・ラビンドラン氏のテーマは**「世界へのプレゼントになろう」**であります。日本語訳をするので微妙なずれはあるかも知れませんがスリランカのラベル印刷会社を包装業界の世界最大手に育て上げた、立志伝中の人だから言えるＰＡＹＩＴＦＯＲＷＡＲＤ（恩送り）からきている言葉でしょう。私達の人生の価値はどれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのですと言っておられます。また、地区のリーダーである高柳ガバナーは**「ロータリーの心を実践しよう」**をテーマとされています。どんな小さな奉仕活動であっても新たな奉仕活動では新たな出合いが生じます。又、新たな出合いが、一人ひとりの人生を豊かなものにしてくれるものだと思います。その機会を増やしてくれるのはロータリーだと思います。新会員を受け入れ、育成をし、奉仕活動に参加協力いただくことは、その人生において大きな価値を生んでくれるだけでなく、私たちの人生も豊かなものにしてくれます。と言っておられます。

そして、こちらの竹内会長は富士見ＲＣ創立４１年目ということで、今年のテーマを**「リスタート」**とされ、これはこれまで４０年にわたり歩み続けてきた富士見ＲＣの素晴らしい伝統を引継ながらも、これから新たに始める奉仕のスタートという意味も有ります。また、創立当時は会員全員のロータリーへの想いに熱いものがあったに違いありません。会員同士の相互理解や敬う気持ちがあったに違いありません。そんな気持ちを持ちながら４１年目を楽しんで活動していきたいと言われています。まだ、成長過程の私達は竹内会長の言われる「会員同士の相互理解や敬う気持ち」を持ち続けること、これは大切であろうと思います

このように素晴らしいリーダーの方々、ＲＩ会長、地区ガバナー、クラブ会長それぞれの思いが私たちの１年間の活動を支え、導き、楽しいロータリーライフを作り上げていく訳で、人それぞれの中にロータリーの価値観が有り、異なっていても良いと思います。ご本人からお話を聞いた訳ではないのですから、文章の部分をお借りしました

私はガバナー月信の８月号の中に**「自由と平等があるからロータリークラブである」**ということを書かせて頂きました。私達ロータリアンは自己研鑽を行い、資質を高めるためにクラブ活動をするもので、真の自由と平等を学ぶ場所がロータリークラブであると考えてまいりました。私達事業主や専門職の者は立場上威張ることや我儘を押し通し易いのですが、ロータリーでは同じバッチをつけ、同じ会費を払い、同じ食事をする平等な会員という立場が守られています。

時として１年間何らかの役職につき、単年度でクラブの運営を行うことがありますが、クラブ会員の気持ちよくロータリーライフを送るために相手の事を考え、気を使う事を忘れないようにする事が大切であります。また、自由という部分では他人に押し付けられるのでなく自分の意志を持って個人奉仕を行い、個性を守るために自分の考え気持ちを伝えること、理解して貰う為に親睦（相互理解、友情）を深めることが大切で、其れが無いと自分勝手、我儘、利己主義になってしまう。

それではクラブは楽しくない。そして職業を通して出来た余裕（精神的、物資的）を使い世の中のお役にたつ人に成る事（社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕）。

それが私のロータリー感であります。

最後に私がガバナー補佐を受けさせて戴いたのはロータリーが好きだからで、感謝しているからであります。会長さんは地区のセミナー等で、クラブの良し悪しは会長で決まる。会長の時間が最も大切であるとプレッシャーを与えられています。その分、会長さんは勉強し、気持ちを込めて会長の時間を務められることと思います。私からはそんな会長さんを支える会員の皆様方です。会員の皆様方の協力やお力添えが楽しい、素晴らしいクラブを作り上げていく事を忘れず会長さんを盛り立てて戴きたいと思います。非力では有りますがご一緒に会長さんのお役に立てるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

【点鐘】会長　竹内英明会員

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.com

会報･IT委員会

委員長:長根章浩　副委員長:小椋博之

委員:楠　邦治　松本伸一郎

吉原孝好　浅見隆広

本日の週報担当:長根章浩